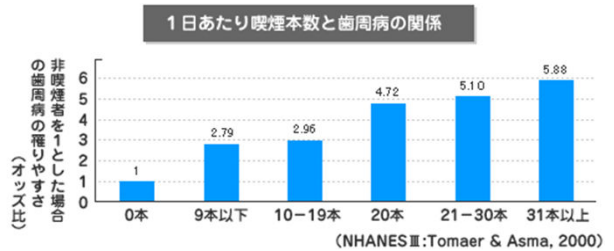


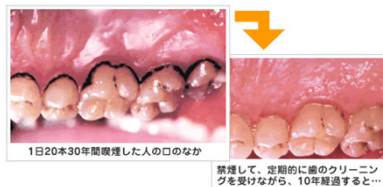
たばこは歯周病の最大のリスク因子です

喫煙は歯周病にも大きな関係があり、喫煙本数が増えるほど歯周病にかかりやすくなっていることがわかっています。(下図では、1日に31本以上タバコを吸う人は、吸わない人の5.88倍も歯周病にかかりやすいことを示しています。)

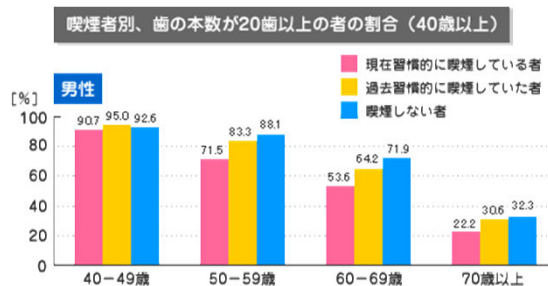
1箱(20本) × 365日 × 10年(年数)
= **73000本!**



喫煙は歯周病を悪化させるだけでなく、歯ぐきの色を黒くさせて見た目を悪くしたり、口臭の原因にもなります。さらには口腔ガン(歯ぐきや舌にできるガン)の原因にもなります。



厚生労働省が実施した平成16年国民健康・栄養調査においても、40歳以上の男性で、現在習慣的に喫煙者は喫煙しない人に比べ、歯の本数が20本以上の人の割合が低いという結果が出ています。



もり歯科・矯正歯科・予防歯科No3